

令和2年度 御嵩町立御嵩小学校 第1回学校運営協議会

議事録

令和2年6月29日(月)

14:00~15:20

御嵩小学校 会議室

◇令和2年度 学校運営協議会委員名

	氏名	勤務先・職名等	備考
1	伊藤 良孝	中公民館 館長	会長
2	佐曾利 正視	御嵩公民館 館長	
3	安藤 雅子	町議会議員	
4	生駒 三枝子	御嵩小学校区主任児童委員	
5	斉藤 多賀子	可児郡交通安全指導員	
6	安江 奈留美	中保育園 園長	
7	日比野 憲輔	元PTA会長	
8	安藤 奈美恵	R2 PTA会長	

◇運営協議会事務局(学校)

・校長 ・教頭1, 2 ・教務主任 ・生徒指導主事

◇日程

- 14:00~14:05 校長挨拶 日程説明
- 14:05~14:10 自己紹介
- 14:10~14:25 学校経営構想説明(校長)
- 14:25~15:10 協議・交流
- 15:10~15:20 学校経営構想承認 校長挨拶

◇ご意見・ご質問・ご感想

○「御嵩小えがお応援隊」について

- ・(会長より) 地域の方たちに、学校のために一緒にできることを考えて参加してもらっている。まず子どもたちの祖父母世代から声をかけた。応援するために学校を知ってもらおうと、「給食を食べよう」という企画で学校を訪れたり、昔あそびを1年生に教えるために得意分野で活躍してもらったりした。実際の参加は25~30名ほどだが、募集したときの名簿上では40名ほどが集まってくれている。
- ・(学校より) ミシン指導や畑の活動で名乗りを上げてくれた方々をはじめとして、学校を応援したいという人が徐々に広がっている。絆メールに登録してもらい、学校の情報が伝わるようにしている。まだ登録者は少ないが、各活動への参加は人づてに伝わっている様子である。親子奉仕活動時におけるトイレ掃除など、保護者・職員の負担を軽くするような参加の仕方もあり、たいへんありがたい存在である。

○ホームページのログイン閲覧におけるパスワード

- ・校報(学校だより)については、下校の予定時刻が載せてあるため、それを広く知らせることはできない。そのため、ログインによる閲覧をお願いしている。
- ・行事予定については、HP内のカレンダーを見てもらうようにしたい。

○児童の見守り活動について

- ・今、皆がマスクをした状態なので、相手がどんな人か分からない。学校を訪れる応援隊や、登下校を見守ってくれる地域の方などが不審者に思われないよう、何か身につけるなどよい方法はないか。
- ・町ボランティアに配付しているオレンジ色帽子のようなものを活用できないか。
- ・帽子以外にもベストなど、町全体で、これを身につけている人は安心できる人というような統一した着用品があるとよい。

○地域の願う子どもの姿

- ・楽しく育ってほしい。学校に楽しく通える子を願う。
- ・「御嵩町大好き！」な子、御嵩町を愛する子を願う。おじさんやおばさんたちもよく学校へ来てくれたり、声をかけてくれたりしたなあ と思ってもらえることが大切。大人も頑張る力をつけることが必要。
- ・子どもの縦のつながりや大人とのふれあいを増やすために「田んぼの学校」を開設した経緯があり、その効果はあった。このように、いろいろな人と接する機会を増やすことが大切ではないか。
- ・「自分で考え、自分で動いていく子」を願う。例えば、横断歩道を通るとき、自分で判断して動ける子。自分の立場としてどうあるべきか、どうふるまうべきか考えられる子。
- ・大人も子どもと顔見知りになっていくことが大切。
- ・学力がついて勉強したことが分かるようになったり、仲間づくりができたことなどで、子どもの笑顔が生まれる。活力のある子に育ってほしい。反応のできる子、元気さを出せる子を育てたい。
- ・教育活動の中で、行事は力をつける大切な場。行事を大切にしてほしい。

○今年度の行事について

- ・コロナ禍の中で多くの行事が犠牲になった。町内でも足並みをそろえられるものとそろえられないものがある。プールはすべての学校で中止にした。運動会は非常に多くの人が集まるので密の状態は避けられず、また、熱中症対策も行わなければならないので従来そのままの形では実施が難しい。
- ・宿泊研修や修学旅行もなかなか見通しが立たない状態である。
- ・とはいえ、子どもたちが夢中になれることを見つけてあげたい思いもある。子どもたちに、こういう制約の中でも「どんなことがやりたいの？」と問いかけ、主体的に考えさせていく方法もある。
- ・登下校中の安全や不審者のことが心配である。これもやはり、地域住民の見守りが大切である。

○校内のコロナ対策

- ・教室や授業での安全確保はどんな状況か。以前、教室を見たときの印象では、距離を大きくとるようなことは難しいと思われた。
- ・もちろん、予防対策として必要なことは意識して実践している。ソーシャルディスタンスは無理でも、室内でできるかぎりの距離を保つ机列にしている。
- ・また、ワークスペースや屋外のように広い場所を利用して学習環境を設定したり、近い距離で対話的に行う授業形態はとらないようにしたりするなど、できるかぎりの予防対策意識をもたせるよう担任は努めている。
- ・町議会で、机上のシールド設置やエアコンの設定温度を通常より下げてもよいことなどを要求していく。

○職員による放課後の消毒作業の負担軽減について

- ・他の郡市でも、働きかけてボランティアを募ったところがあると聞いた。
- ・毎朝登校してきた子どもたちの検温や手指消毒を早い時刻から行っており、放課後までこの作業でかなり時間を割くことになると、他の業務に支障が出る。
- ・地域に声をかけていく・保護者をお願いする・外部団体に依頼するなどの方法があると思う。
- ・公民館を通し、応援隊のように声をかけていくこともできるが、日時や必要な人数など、ある程度の計画がないと依頼はしにくい。
- ・まず保護者に声をかけてお願いするというのが順序ではないか。
- ・毎日でなくても、ローテーションを組むなどして、協力を願うという手はあると思う。
- ・PTAで協力できるかどうかを検討してみる。